取扱説明書

ロードケア

聴覚障害者用警告音通報装置

この製品は、耳の不自由な方が安心して車の運転ができるよう
周囲の警告音をお知らせする装置です。
緊急車輌（救急車、消防車、パトカー）のサイレン、踏切音、クラクション
などの警告音を感知し、ＬＥＤ（発光ダイオード）の点灯によって
運転者（使用者）にお知らせします。

正しく安全にお使いいただくため、

この取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった後は、必要に応じていつでもお読みいただける場所に
保管して下さい。

目次

１．安全にお使いいただくために・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２．セット内容および各部品名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

３．接続方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

４．使用方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

５．注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

６．故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

７．保証書とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

１．安全にお使いいただくために

必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。
取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	△は、警告・注意を促す記号です。 △の近くに具体的な警告内容が描かれています。
	○に斜線はしてはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○に斜線の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。
	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容が描かれています。

⚠ 警告

禁止

電源コードを傷つけたり、加工、過熱、修復しないでください。
火災になったり、感電する恐れがあります。

●設置時に、電源コードをドアなどの間にはさみ込んだりしないでください。

●重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。

●熱器具に近づけたり、過熱したりしないでください。

●電源コードを抜くときは、必ず DC プラグを持って抜いてください。

●コード類を極端に折り曲げないでください。

万一、電源コードが傷んだら、弊社またはお買い上げ販売店にご相談ください。

分解禁止

本製品の分解や改造はしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、シガーライターソケットから DC プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。

弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、
すぐに DC プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。

弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

シガーライターソケット（**12V**）以外には、絶対に DC プラグを差し込まないでください。

異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強制

DC プラグは、シガーライターソケットに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全のまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

強制

電源コードや、接続コードは必ず本製品付属のものをお使いください。

本製品付属以外の電源コード、接続コードをご使用になると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

電源プラグを抜く

本製品の内部に液体や異物などが入ったら、シガーライターソケットからDC プラグを 抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。
弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

水濡れ禁止

本製品を水に濡らさないでください。
（※マイクは濡れても大丈夫ですが、故意に濡らさないでください。）
火災になったり、感電する恐れがあります。

強制

本製品の車内での設置は、お子様の手の届かないように機器やコード類を配置してください。

けがや思わぬ事故になる危険があります。

⚠ 注意

禁止

電源コードがシガーライターソケットに接続されているときには、
濡れた手で本製品に触らないでください。
感電の原因となります。

禁止

次の場所には設置または放置しないでください。
感電、火災の原因になったり、製品に悪影響を及ぼすことがあります。
●強い磁界が発生するところ（故障の原因となります）
●静電気が発生するところ（故障の原因となります）
●強い震動が発生するところ（けが、故障、破損の原因となります）
●直射日光が当たるところ（故障や変形の原因となります）
●火気の周辺、または熱気がこもるところ（故障や変形の原因となります）

強制

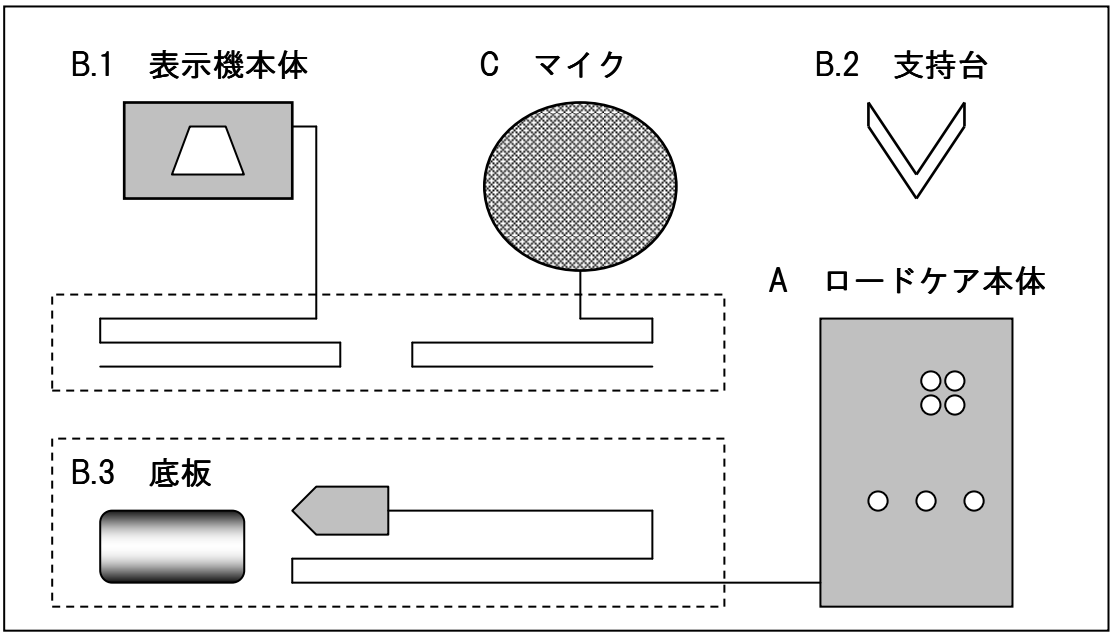
本製品を破棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、地方自治体にお問い合わせください。

２．セット内容および各部品名称

２－１　セット内容

箱詰め図



A　ロードケア本体
B.1 表示機本体
B.2 支持台
B.3 底板
C　マイク
・　取替え用マイクカバー
・　保証書
・　取扱説明書（本書）

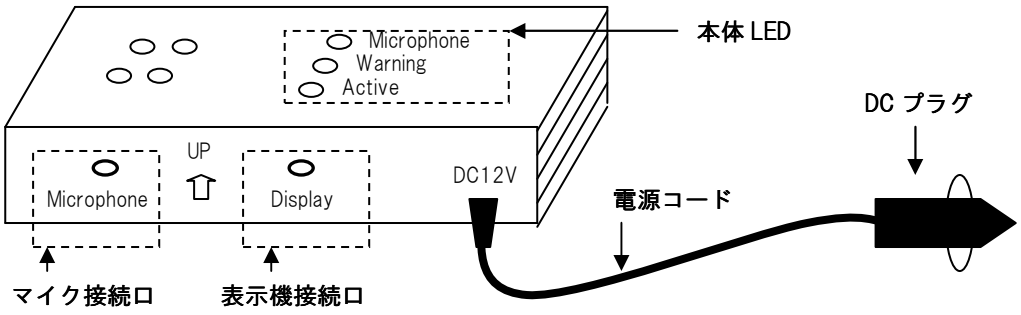
製品諸元

・最大消費電力：約４W
・耐熱性能：-10℃　～　＋70℃
・感知可能速度：約６５ｋｍ／ｈ以下

２－２　各部品名称

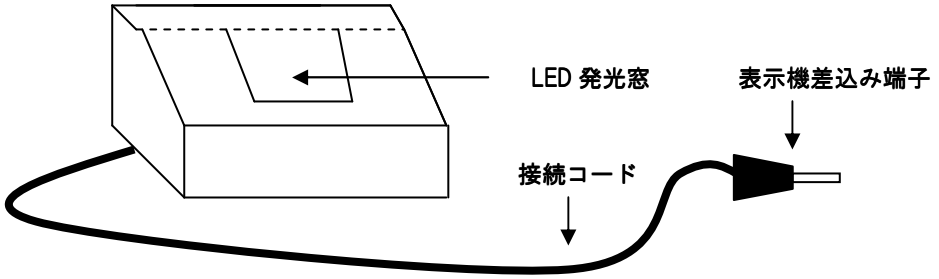
A　ロードケア本体

最大外形寸法　幅 110×高さ 23×奥行 62　mm、　重量　約 285g（電源コード含む）



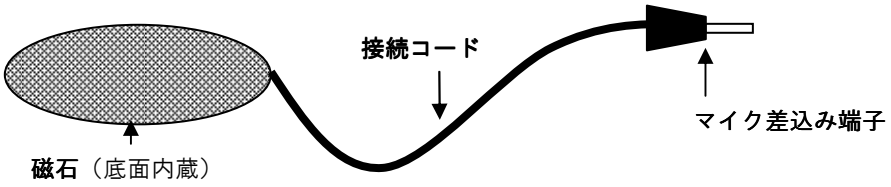
B.1　表示機本体

最大外形寸法　幅 90×高さ 50×奥行 52　mm、　重量　約 110g（接続コード含む）



C　マイク

最大外形寸法　直径 86×厚さ 15　mm、　重量　約 85g（接続コード含む）



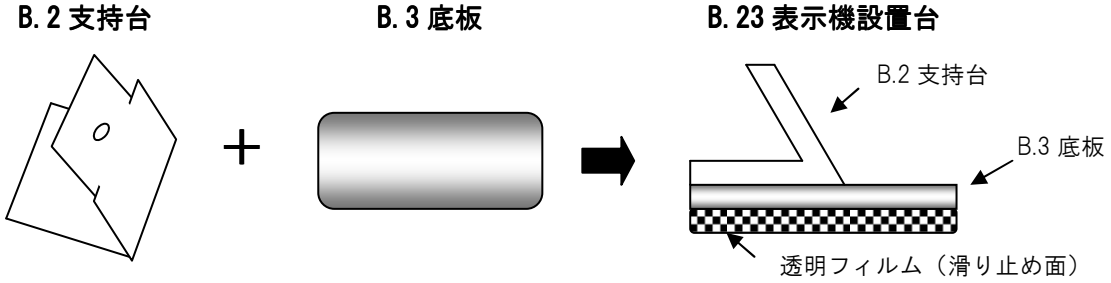
２－３　表示機の組立方法

①　B.2 支持台と B.3 底板の接着（＝B.23 表示機設置台）

B.3 底板の透明フィルム面が貼られていない面に、B.2 支持台の底面を接着します。

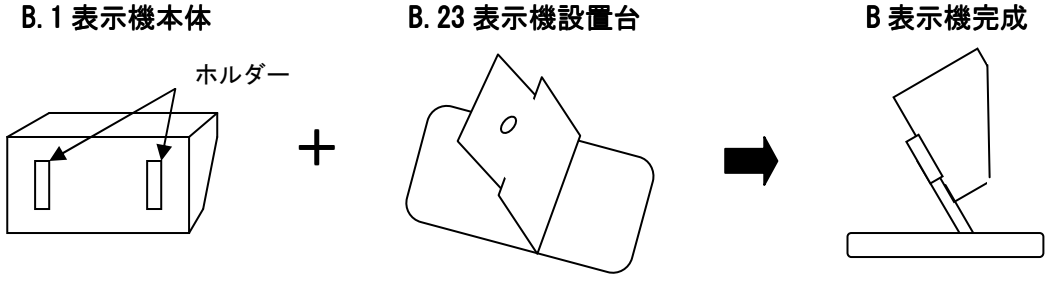
下図のように、B.2 支持台と B.3 底板の端を揃えて接着してください。

※B.2 支持台の底面には、両面テープが貼られています。



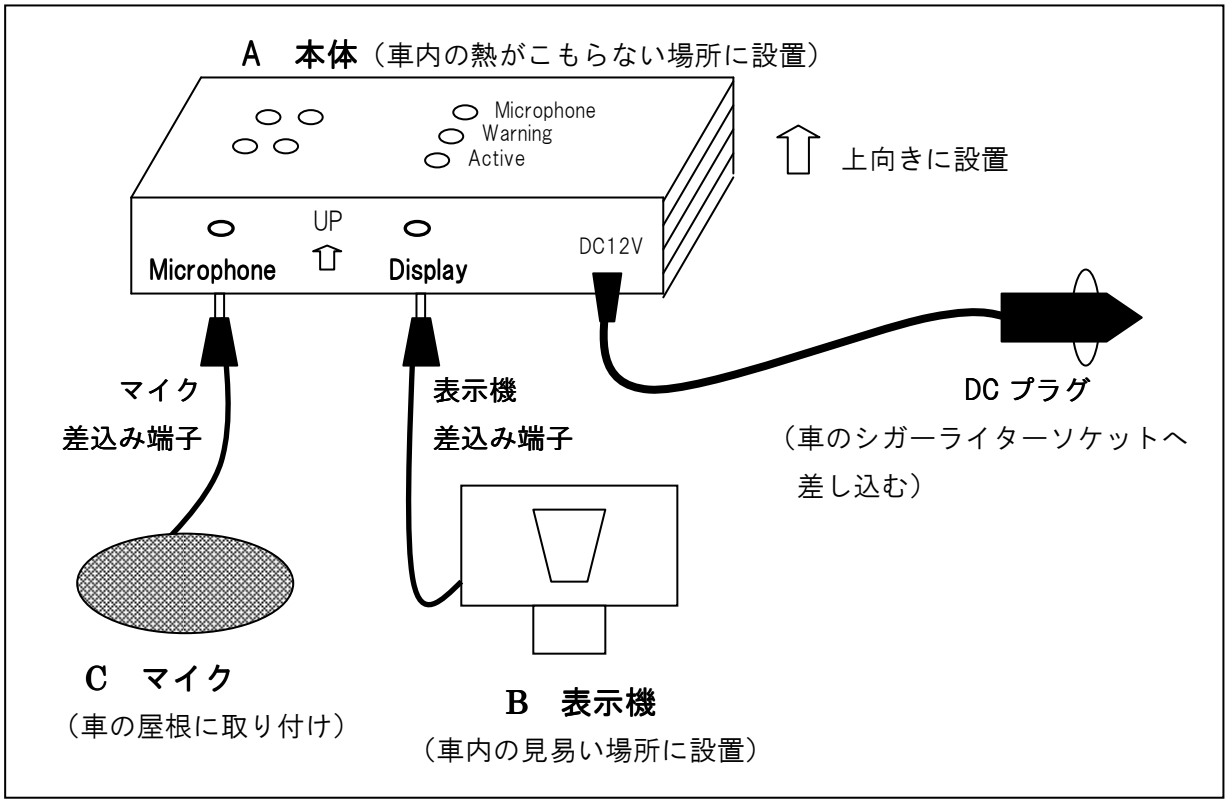
②　B.1 表示機本体の取付け

B.1 表示機本体の背面にあるホルダーを、①で作成した B.23 表示機設置台にかけます。



３．接続方法

３－１　機器接続図



３－２　接続手順

①　A 本体を車に設置

本体を車内の熱がこもらず、運転の妨げにならない場所（助手席の下など）に
上向きで置いてください。

②　B 表示機を本体に接続

B 表示機の差込み端子を A 本体の表示機接続口「Display」に差し込んでください。

③　B 表示機を車に設置

表示機設置台の底面に貼られている透明フィルムをはがし、B 表示機を運転席から見易く、
また運転の妨げにならない場所（ダッシュボードの上など）に置いてください。

※B表示機のＬＥＤ発光窓が運転席から見易くなるよう、位置や向きを調整してください。
また、急な発進・停車・急ハンドル、悪路による揺れ等によって表示機が転倒する可能性があります。安全のために慎重な運転をお願いします。

④　C マイクを本体に接続

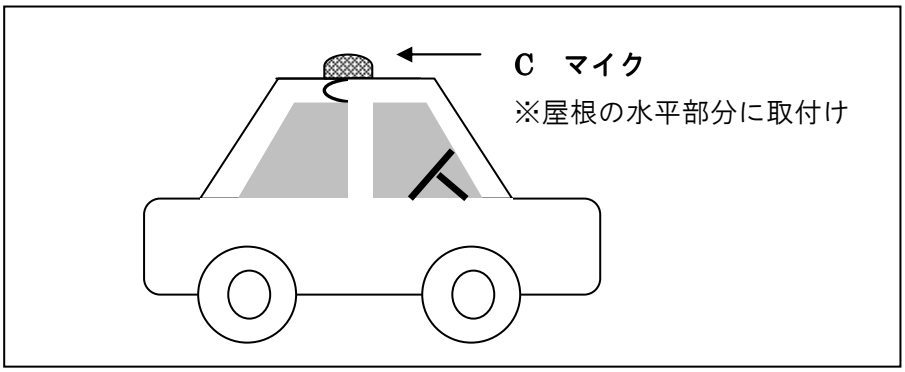
C マイクの差込み端子を A 本体のマイク接続口「Microphone」に差し込んでください。

⑤ C マイクを車に取付け

車のドアを開いて、C マイクを車外に取り出し、車の屋根の平らな場所に取り付けてください。C マイク裏側には磁石が内蔵されていますので、車との脱着が簡単にできます。

※車のドアを閉めるとき、接続ケーブルが強く引き込まれないよう注意してください。
また、全方位の音を集音しやすくするため、できるだけ車体の真中に近い位置に取り付けることをお薦めします。

マイク取付図

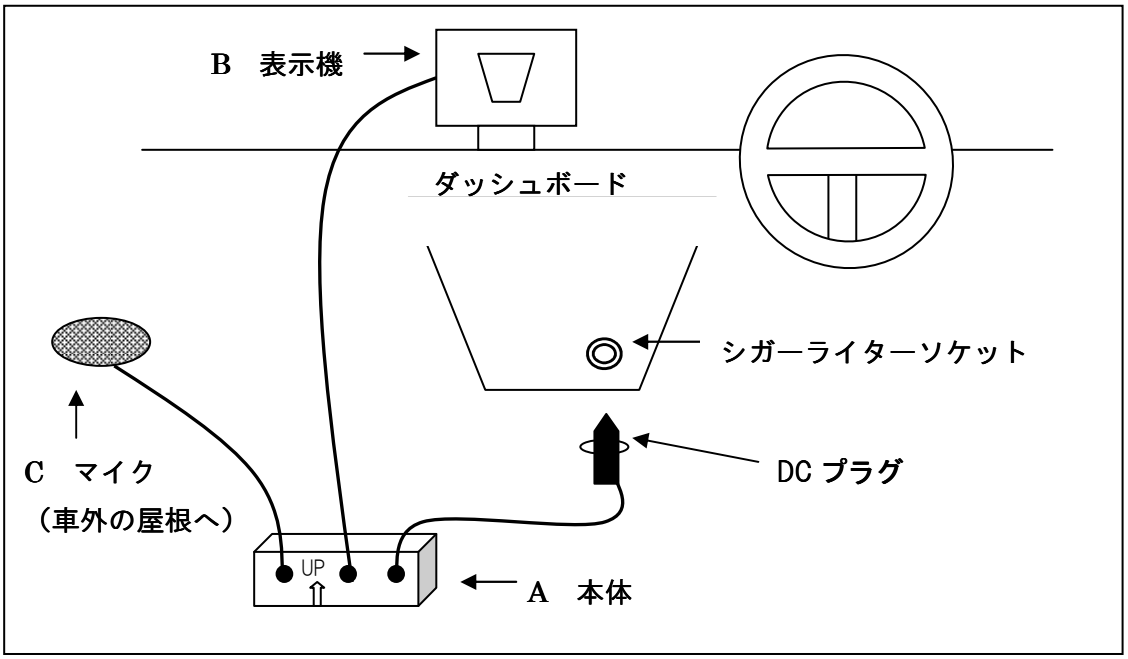


⑥ A 本体を車のシガーライターソケットに接続

A 本体の DC プラグを車のシガーライターソケットに差し込んでください。

※正しく接続されていないと本体に電源が入りません。

機器設置図



４．使用方法

４－１　接続確認

「３．**接続方法**」通りに接続されていることを確認します。

４－２　起動

車のエンジンをかけると本体の電源が ON になり、起動します。（※）

■確認

起動時には、表示機の LED が赤色→黄色→青色と点滅した後、緑色に点灯します。

電源を入れても表示機の LED が点滅、点灯しない場合は、接続を確認してください。

４－３　動作中

表示機の LED の点灯によって、装置の状態や周囲の状況を知ることができます。

緑色：定常状態

赤色：サイレン（救急車・消防車・パトカー）、踏切音（一部）を感知した場合

青色：クラクションを感知した場合

本体の LED の点灯によっても、装置の状態や周囲の状況を知ることができます。

Warning（赤 LED）　：サイレン、踏切音（一部）、クラクションを感知した場合

Active（緑 LED）　：定常状態

４－４　停止

車のエンジンを切ると本体の電源が OFF になり、停止します。（※）

４－５　収納

本装置を使用しないときは、マイクを車体から外し、車内へ収納してください。

■注意

マイクを車体に取り付けたままですとマイクの劣化が早くなる可能性があります（特に屋外の駐車時）。マイクカバーが劣化した場合は、付属のマイクカバーと取り替えてください。取替え用マイクカバー（別売）もございます。

※　車のエンジンと本体の電源 ON・OFF の関係について

車種によっては、エンジンの起動・停止に関係なく、シガーライターソケットから常時電源が供給される仕様になっている場合があります。この仕様の車でご使用になる場合、本装置はＤＣプラグをシガーライターソケットに差し込むと起動し、引き抜くと停止します。車のエンジンが停止していても、ＤＣプラグが差し込まれている間はバッテリーから本装置に電源が供給され続けています。長時間運転しないときは、**バッテリーあがり**を防ぐためにＤＣプラグをシガーライターソケットから引き抜いてください。

ご使用になる車の仕様をご確認ください。

５．注意事項

この装置は、運転者（使用者）の交通安全を保障するものではありません。
運転中の安全確認を補助する装置です。運転時は、直接目視で周囲の状況を確認の上、安全運転を心がけてください。

安全運転のための補助装置としてお使いください。

５－１　本体の設置について

本体の設置場所や条件について、以下の項目をお守りください。

・運転の妨げにならないところに設置すること
・上向きに設置すること
・グローブボックスなどの熱がこもる場所に設置しないこと
・上に物を載せないこと

※上記項目をお守りいただけない場合、**故障や事故、火災の原因**になることがあります。

５－２　表示機の設置について

表示機の設置場所や条件について、以下の項目をお守りください。

・運転の妨げにならないところに設置すること
・運転者から見やすい位置・向きに設置すること

※急な発進やブレーキ、急ハンドルにより表示機が転倒する可能性があります。
安全のために慎重な運転を心がけてください。

５－３　マイクの設置について

マイクの取付け場所や条件について、以下の項目をお守りください。

・車の屋根のできるだけ平らなところに取り付けること

※マイクが水平でないと、音を感知する精度が悪くなる可能性があります。

５－４　マイクカバーについて

劣化によりマイクカバーにたるみが発生すると雑音のため誤動作することがあります。
その時は、マイクカバーを新しいものに、取り替えてください。
使用期間６ヶ月程度を目安にお取り替えください。

６．故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、次のことを確認してください。

症　状	点　検　項　目
本体の緑ＬＥＤが点滅しない	本体のＤＣプラグが車のシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか？
表示機のＬＥＤ緑色が点灯しない	表示機が本体に正しく接続されていますか？
警告音もないのに青または赤ＬＥＤが、走行中に点灯する。	マイクの取り付け場所は適切ですか？ マイクカバーが劣化していませんか？ ※マイクカバーは６ヶ月程度で交換してください。 （取替え用マイクカバー別売）

７．保証書とアフターサービス

●保証書について

この製品には保証書がついていますので、必ずお受け取りください。保証書は、記載内容および「販売店名・購入日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合には、すぐに販売店へお申し付けください。

保証期間はお買い上げ日より**１年間**です。

●アフターサービスについて

製品に不具合があると思われるときは、お問い合わせ・修理の依頼をされる前に、この取扱説明書をよくご覧になり、不具合を解消してください。不具合が解消しないときは、販売会社または弊社（下記）までご連絡ください。保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。保証期間が終了している場合は、有償による修理となります。

※弊社へのお問い合わせ・修理の依頼方法の詳細につきましては、
　別添の保証書をご確認ください。

◆本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。

第１．３版

2009 年　6 月

ウェルフェア株式会社　Welfare

〒400-0035

山梨県甲府市飯田３丁目１番２号

TEL：055-227-1811

FAX：055-224-5626

e-mail：welfare00@ycc.co.jp

URL：http://www.ycc.co.jp/welfare/